

第38回秋季四街道市クローバーカップ 兼四街道市ミニバス連盟再結成10周年記念大会

四街道ミニバス連盟新聞

2012年の市内大会を締めくくると、第38回秋季四街道市クローバーカップが11月24、25日の両日、四街道市総合体育館で開催された。

男子は、今大会から市内3チームに加え、招待チームが5チーム計8チームにより予選トーナメント、順位決定トーナメントが行われた。

女子は、市内7チームと招待5チーム、計12チーム参加による予選リーグ、順位決定トーナメントが行われた。

男子は、初日の予選トーナメント。2つのリーグに分かれてトーナメントで順位を確定する。Jリーグは、安定した戦いを見せた大日インプレスが1位通過、2位に富里ネット、3位YMC、4位内野イーグルス



初優勝の成田シューティング

成田シューティング初優勝

今大会は、四街道市ミニバスケットボール連盟再結成10周年記念大会も兼ねている。長岡会長を中心に連盟の体制を整備し、10年を迎えた。市内4大会、フレッシュカップ(市内新人戦)、春季クローバーカップ、サマーカップ、秋季クローバーカップを各部門が連携して開催をしている。今大会は、男女参加チームが20チームと過去最多参加チーム数となった。今後ミニバスの普及とともに、子供達の健全な育成をサポートできるように活動を継続していく。

となった。Kリーグは、前評判通り、1位成田シューティング、2位四街道MAX、3位交進キッズ、4位フイーニックスとなり、2日目の順位決定トーナメントへ進んだ。この予選で1番の盛り上がりを見せたの

が、Kリーグ1位決定戦、成田シューティング対四街道MAX。前評判は、成田シューティング有利。しかし、前半を終え、成田シューティングのリードは、わずか2点。3Q終了時には、四街道MAXが、点差まで詰め寄っていた。最終4Q、自力で勝る成田シューティングが突き放し、31対26で1位勝ち上がりとなった。手に汗にぎる好ゲームであった。

2日目は、前日の各リーグの1、2位と3、4位ブロックに分かれての対戦。3、4位ブロックはフイーニックス、交進キッズが勝ち上がり、対戦した。前日も対戦している両チーム。交進キッズが勝利したが、2日目は、接戦の末、28対22でフイーニックスが勝利し敢闘賞となった。

1、2ブロック。優勝を

大日インプレスあと一歩

決勝であと一歩優勝には届かなかったが、価値ある準優勝であった。今年



準優勝の大日インプレス

街道男子を引っ張って来た大日インプレス。来年も活躍を期待する。

かけての1戦はJリーグ1位の大日インプレスとKリーグ1位成田シューティングの間で行われた。1Q大日インプレスリードで終了。2Qは、成田シューティングが攻め得点を重ね、10点リードで前半を折り返した。後半、大日インプレスも粘りを見せたが、46対30で成田シューティングが優勝となった。大日インプレスは、あと、1歩優勝に届かなかった。3位は富里ネット、4位四街道MAXとなった。2日目の好ゲームは、1、2位ブロック準決勝、成田シューティング対富里ネット。前半は、成田シューティングがリードしていたが、3Qで富里ネットが逆転。このまま決まると思われたが、成田シューティングが追い上げ、再逆転1ゴール差で勝利を手にした。

一方、女子は、W、X、Y、Zリーグの4つに分かれ予選を行い、サマーカップを制した和良比、クローバーカップ春を制した大日、Yリーグで抜群の安定感であった四街道中央、四和との激戦を制した桜ヶ丘がそれぞれ1位ブロックに勝ち上がった。その中でZリーグ、桜ヶ丘対四和は、手に汗握る熱い試合となった。前半、25対8と桜ヶ丘が有利に試合を進めた。一歩的な試合展開になると思った後半、四和の怒涛の攻撃が始まった。3Qで31対20と詰め寄り、迎えた4Q。四和は桜ヶ丘の攻撃を抑え、得点を重ねて行き1ゴール差とした。試合終了間際に四和がフリースローを得た。1本目を決め、1点差。2本目は惜しくも外れ最小点差で桜ヶ丘が逃げ切った。会場からは両チームに惜しみない拍手がわきあがっていた。

2日目の1位ブロック準

決勝、和良比対桜ヶ丘。終始、和良比ペースで試合が進み、44対19で和良比が勝利し、今季市内3大会連続の決勝進出となった。もう一つの準決勝は、四街道中央対大日。各大会でのぎをけずってきた両チーム。接戦が予想されたが、3Qが終わり、24対8と大きく四街道中央がリード。しかし、ここから、大日が猛烈な追い上げを見せ3点差まで詰め寄ったが、一歩届かず、26対23で四街道中央が今季市内大会初の決勝へ進出した。

決勝は、和良比対四街道中央。1Q、和良比がスタートダッシュを決め、24対1と大きくリード。2Qは、お互い攻め10対10で前半を34対11、和良比がリードで終了。後半も和良比ペースで進み得点を加算していき、四街道中央も4Q必須に追いかけたが、66対33で和良比が市内大会3つ目の栄冠を手にした。

和良比ミニバス3つ目



市内3つ目の栄冠となった和良比ミニバス

た。3位決定戦は、終始、大日ペースで試合が進み、着実に加点した大日が勝利し3位となった。2位ブロックは、富里ネットが、3位ブロックは、マロンキッズがそれぞれ敢闘賞を獲得した。

今年度の市内大会も無事全て終えることができた。今大会は、四街道市ミニバスケットボール連盟再結成10周年という事で、参加チーム6年生による四街道対招待チームのエキジビション試合も開催された。男女ともに大会を盛り上げてくれた。記念大会参加の記念として各チームに記念ボールを贈呈した。

四街道中央ミニバス準V

今季、市内大会初の決勝進出で準優勝となった四街道中央。コート内を縦横無



準優勝の四街道中央ミニバス

尽に走り回り、最後まで落ちることなく得点を重ねるプレーは観客を魅了した。

ローバーカップは、男女20チームと過去最多の参加数となった。協賛団体も毎年協力頂いている。たくさんの団体、人々に支えられ開催できていることに感謝するところである。6年生にとっては、残り少ないミニバス生活を悔いの残らないようにしてほしい。千葉県大会に向けて、しっかりと練習を積んでひとつでも多く勝ち、試合することを期待する。また、来年も熱い戦いを体育館で見ることが楽しめるプレーを見せてほしい。



【最終順位】
 【男子】「1・2位ブロック」優勝成田シューティング 2位大日インプレス 3位富里ネット 4位四街道MAX 「3・4位ブロック」1位フイーニックス 2位交進キッズ 3位YMC 4位内野イーグルス
 【女子】「1位ブロック」優勝和良比 2位四街道中央 3位大日 4位桜ヶ丘 「2位ブロック」1位富里ネット 2位みすみ 3位昂 4位小倉台 「3位ブロック」1位マロンキッズ 2位フォルティ 3位四和 4位ひまわり